

格差ベアの永久的根絶をめざし、全組合員が立ち上がろう！

JR東労組東京地本闘争委員会

2018 2.6

東京地本闘争委員会FAXニュース

No. 7

申 2月6日 JR東労組中央本部は、JR東日本会社と

13号 「格差ベア」を無くし、全組合員一律定額の
ベースアップを求める申し入れ 団体交渉を行う！

格差ベア根絶を確認できず対立！

本部は、スト権行使を含めたあらゆる戦術行使に必要な手続きに入ることを席上通告して終了

組合 この4年間、ベアに格差は必要ないことを提起してきた。あらためて格差のつくベアはしないこと！

会社 ベアは毎年その都度決定する。具体的な提起を受け、ベアの方法と規模は議論する。

ベアの方法を固定すると柔軟性を欠き、若年層を厚くしたくても対応できないなどのデメリットもある。

組合 一律定額ベアは若年層に厚くなる。年齢や職責は手当とすべきだ。
*管理手当交渉議事録確認

会社 基本給は職能給的な総合決定給だ。様々な要素を総合的に勘案する。

昇給係数を使うベアは、人事・賃金制度の議論では出していない。議論の俎上に上がらなかつただけである。

組合 格差ベアについて、人事・賃金制度改善時に議論していない。総合決定給という新たな考え方をもち込むのは、この間の労使議論を蔑ろにするものだ。

4年間の議論と対立を経て、強い決意でこの交渉に臨んだ。だが労使の紛争状態解決に向けた会社の努力がない。

- 昨年の申14号交渉や管理手当の交渉の議事録確認を踏越えている。
 - 申13号交渉で格差ベア根絶を確認できず！労使の紛争状態は継続している。
 - 内部留保の規模は席上では示せない。別途回答する。
 - 会社回答はこれまでより後退しており、労使の議論経過を蔑ろにする行為だ。
- 本部は以上のことから、スト権行使を含めたあらゆる戦術行使に必要な手続きに入ることを席上通告して、団体交渉終了。

いかなる戦術行使にも対応できる 組織体制の構築を訴えます！